

ま ち の 話 題

豊岡

京極家の菩提寺を訪ねて

豊岡城下町あるき体験講座



▲指導・引率の方の解説に感嘆の声が！

10月9日、豊岡城下町あるき体験講座(豊岡の城下町を活かす会・豊岡観光協会主催)が開催され、約15人の参加者は、元禄時代の絵図を片手に、豊岡城下町を探索しました。晴天に恵まれたこの日は、「興国寺と瑞泰寺を巡る」と題して、江戸時代豊岡藩を治めていた京極家の菩提寺などを訪ね歩きました。幻の大寺院といわれてきた興国寺境内が、藩主の館とほぼ同規模で、目を見張るほど大きかったことや、廃藩から今日に至るまでどのように変わったのか…。絵図と今の地形とがどう重なるのかの解説を受けた参加者は、いしえの城下町に思いをはせていました。

城崎

自然豊かな湿地一帯は大にぎわい！

八チゴロウの戸島湿地まつり

9月18日、城崎町今津の八チゴロウの戸島湿地で「八チゴロウの戸島湿地まつり」(コウノトリ湿地ネット主催)が開催されました。

管理棟内では、コウノトリ談議や「うたのひろば」が、屋外では、たこ焼きや農産物加工品、軽食などのバザーが行われました。「湿地散策」では、胴長を着て水位の高い湿地を歩くため、参加した約20人は、歩くたびに歓声を上げていました。

また、春先から試行錯誤して完成した地元食材満載の「八チゴロウ弁当」が初お目見え。856円で販売され、用意された50食分はすぐに売り切れてしまうほどの人気でした。



▲胴長を着ての湿地散策。足元に気を取られ、ガイドの話も…聞いている？

竹野

世界に「つだけ」のタペストリー

制作と手芸にトライ



▲子どものアイデアも生かして…。出来上がるのが楽しみ

10月4日、竹野子育てセンター(竹野町和田)に親子が集まり、地区公民館の文化祭に出品するタペストリー(壁掛け)を作りました。会場には、色とりどりの布やリボン、スパンコール、造花などが並び、好きな材料を選んで、各自思い思いに描き、個性豊かなタペストリーができていきます。18日には、同センターで活動する全グループが集まり、出品作品を共同制作しました。

参加した井垣千夏さん(竹野町竹野)は、「子どもがレイアウトしました。下にカレンダーを貼るなど、子どもが喜んで使うものを作りたいです」と話していました。

日高

2011マウンテンバイク大会in神鍋高原 マウンテンバイク(MTB)で 神鍋高原の風を感じよう!

10月1・2日の2日間、マウンテンバイク大会in神鍋高原(同実行委員会主催)が神鍋高原で初めて開催され、約150人が参加しました。2日には、MTBチャレンジカップが高原内特設コースで行われ、小学生から一般の約50人が熱い戦いを繰り広げました。

3・4年生の部優勝の清水壺成君(市川町・4年)は「しんどかったけど走りやすく楽しかった。また来たい」と笑顔で話していました。会場内には両日、地元グルメの屋台やおもしろ自転車体験コーナーがあり、来場者らに喜ばれていました。今後、コースの一部は常設コースとして1日500円で利用できます。



▲未舗装の山道を勢いよく走り抜ける参加者ら(中学生・一般の部)[高原内特設コース(約2.2km)]

出石

出石藩きもの祭り 和装で彩られた城下町… 江戸時代へタイムスリップ!!

9月23～25日の3日間、出石総合支所前広場で、出石藩きもの祭り(同実行委員会主催)が開催されました。

23日は「第1回出石皿そばおかもち競争」が行われ、3人1組の9チームが参加。3人は、おかもちを持って走る「走り屋」、途中でそばを盛る「盛り屋」、ゴールでそばを食べる「食べ屋」に分かれ、食べ終わるまでの時間を争いました。優勝した出石高校チーム「出高ファイト」で、食べ屋を担った真田佳穂さん(1年)は「朝ごはんを抜いたかきがありました。普段は空手着なので、着物は女性っぽくいいですね」と笑顔で話していました。



▲「おかもち」を片手に、スタートする走り屋。難関を乗り越え、ゴールまでたどり着けるか…

但東

日出神社千本餅つき 威勢のよい声が響きます

10月8日、日出神社(但東町南尾)で、五穀豊穡、家内安全などを願い、千本餅つきが行われました。

千本餅つきは、約400年前に世の中の平穏無事、無病息災、五穀豊穡を祈念したことが始まりといわれ、4人1組で臼を囲み「おいっ!」の掛け声とともに順番に餅をつきます。

中学生がついていると、周りの参加者から「がんばれ!」「上手だぞ」と声が掛かり、餅をつく手にも力が入っていました。

ついた餅は、参加者に振る舞われ、きな粉の香りが漂う中、皆おいしそうに食べていました。



▲リズムよく餅をつく中学生